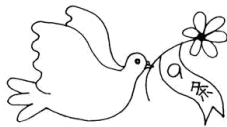


*議員団控室 Tel 740-1268
 *日本共産党川西市委員会
 川西市平野2-1-3
 Tel 792-2164
 北野のり子の活動をお知らせ
 ています。

北野



くらし・福祉をささえるまちへ
 子育て応援します

のい子だより



3月議会報告

4月スタート! 市立川西病院 指定管理者(協和会)運営で大丈夫??

「川西市総合医療センター構
 想」案の再考を求める要望書
 署名：2万191筆
 市長・議会に提出



3月15日、病院事業会計の予算
 委員会は、当日に新年度の病院事業
 計画書、収支計画書(案)が提出さ
 れる等、議会軽視と言わざるを得な
 い進め方でした。

計画書は、指定管理者(協和会)
 が昨年7月に作成したもので、入院
 医療の強化を必須とし新入院患者
 の増加、病床機能の見直し等を行う
 ことで、現病院時点で病床稼働率を
 90%まで引き上げることが目指す
 としています。しかし、実態は昨年
 4月より医師減に伴い手術件数が
 減り、医療収入も患者数も減ってい
 ます。回復の兆しもなく、同年11月
 から一般病床を地域包括ケア病床
 に変え、13対1の看護がはじまっ
 ています。しかも3月補正で一般会
 計から9億2千万円を繰り入れて
 いる状況です。

市は、患者確保については、「具
 体の内容は確認できない。民間ノウ
 ハウで我々が気付いていないこと
 もある。紹介、逆紹介も想定してい
 る」。病院スタッフ確保についても
 「4月以降も確保する。収支計画は
 年間を通して近づいていきたい」と
 説明しましたが、とても計画通りい
 くとは思えず賛成できる内容では
 ありませんでした。

3月26日の最終本会議で日本共
 産党議員団は、反対討論に立ちまし
 たが、賛成多数で可決しました。

(反対・黒田・吉岡・北野・中曾・
 吉富・谷・山下※敬称略) その他の
 議員は賛成しました。



看護師9人退職(北病棟(4階)休床 7対1看護から10対1へ)

指定管理者(協和会)による運営
 からわずか1カ月足らずで看護師が
 5月末で9人退職することが明らか
 になりました。

市は、川西病院の病棟看護配置に
 ついて、4月から急性期病棟4病棟
 の内2病棟を救急専門病棟として、
 必要看護師数73人に対し65人で7
 対1基準を維持してきました。しか
 し、3階南病棟、4階北病棟の看護
 師にはベースとなる病棟がない。一
 つの病棟に複数科の患者が混在し、
 経験のない不慣れなことも行わな
 ければならず看護が難しくなっ
 ている状況。このままでは、役割分担
 した看護ができないこと等への不
 満により、さらなる離職者が発生す
 ることから救急専門を運用した現
 状は困難だと判断。そこで4階北病
 床を休ませ、稼働病床を減らし看

護体制を10対1に変更する。今後、
 紹介会社の活用や職員紹介制度に
 より看護師を確保し、できるだけ早
 い時期に7対1看護基準、急性期4
 病棟の運用に戻すとしています。

これまで日本共産党議員団は、病
 院の指定管理者制度導入により病
 院スタッフの確保できず病棟閉鎖
 の事例をあげ、やめるべきだと訴え
 てきましたが、市は、協和会は30
 00人の職員がいるから大丈夫だ
 と説明してきました。

4月1日現在、常勤238人の
 内、市職員から協和会職員になった
 のは、142人、その他の職員は新
 規採用職員という体制です。半分近
 くが新人となればどれだけの負担
 になるのか容易に想像がつくはず
 です。一刻も早く指定管理者導入も
 含めこの計画そのものを見直すべ
 きではないでしょうか。

核兵器禁止条約への署名と批准を 求める意見書賛成多数で可決 兵庫県下では高砂市、播磨町に続く3番目

反対は、公明党：平岡・大崎・麻田・江見
 無所属：吉富・中曾
 ※公明党の大矢根議員は議長 敬称略

私北野は、以下の通り賛成討論を行いました。
 (一部割愛)

2017年(平成29年)7月、核兵器禁
 止条約が国連で122カ国の賛成で採択さ
 れ、世界は条約発効へと歩を進めています。
 日本は、日本政府の禁止条約に反対する
 核保有国と支持する非核保有国の「橋渡し」
 をすると主張していますが、米英仏の核保
 有5カ国が禁止条約反対声明の提出や日本
 政府案の「核廃絶決議」案が核保有国・非保
 有国双方から批判を受け、橋渡し論も破たん
 しています。今、核兵器廃絶への道をどのよ
 うに切り開くのか、すべての国に問われてい
 ます。特に核兵器による惨禍を体験した日本
 は、特別の責務があり、アメリカの「核の傘」
 に依存し核兵器使用を容認しながら、核軍縮
 を訴えるというごまかしは、もはや通用しま
 せん。被爆75年の2020年には5年に1
 度のNPT再検討会議が開かれます。日本政
 府に求められるのは、世界で唯一の戦争被爆
 国として、核保有国にNPTの義務と合意の
 履行、禁止条約への参加を訴える外交努力で
 はないでしょうか。被爆者の願いを受け止め、
 国内では1月22日時点で358の自治
 体が核兵器禁止条約の署名、批准を求める意
 見書が可決しています。今年、非核平和都市
 を宣言し30年となる川西市の議会としても
 国に対し一日も早く核兵器禁止条約の署名・
 批准を行うよう、意見書を全会一致で提出
 することを求めます。

鼓が滝3丁目小規模太陽光発電所?!



鼓が滝3丁目地内の住宅地
 の真ん中に太陽光パネルを1
 92枚(総設備容量55.9
 kw、発電出力33.0kw)
 を設置する計画が明らかにな
 りました。今回の予定地は、
 住宅に隣接しているうえ、樹
 木を伐採するなどしている土
 地です。雨水の急な流出や土
 砂災害の発生が懸念されると
 同時に反射光による眩しさや
 暑さ、パワコンの動作音、太
 陽光発電システムに起因した
 火災や景観の阻害等、生活環
 境の悪化を招くと危惧してい
 ます。設置者による説明会が
 4月に行われましたが、地名
 が気に入った等、個人的な思
 いが中心でパネルのメーカー
 など未だ詳細が不明です。自
 治会として文章回答するよう
 要望書を提出、再度説明会を
 持つ予定です。基本的には中
 止を求めていると考えると
 いますが、太陽光パネル設置
 工事そのものについては、行
 政の許認可は全く必要ありま
 せん。